

# 枝幸町および稚内市で採集された アサギマダラについて

臼井 平<sup>1</sup>, 今田 悠哉<sup>2</sup>, 佐藤 千明

<sup>1</sup> オホーツクミュージアムえさし, <sup>2</sup> 枝幸小学校

## Records of Two Chestnut Tiger *Parantica sita* (Kollar, 1844) specimens from ESASHI Town and WAKKANAI City, Northern Hokkaido, Japan

Taira USUI<sup>1</sup>, Yuya IMADA<sup>2</sup>, Chiaki SATO

<sup>1</sup> Okhotsk Museum Esashi, 1614-1 Mikasa-cho, Esashi-cho, Esashi-gun, Hokkaido 098-5823, Japan

<sup>2</sup> Esashi Town Elementary school, 627 Shinsakae-machi, Esashi-cho, Esashi-gun, Hokkaido 098-5825, Japan

**Abstract:** Two individuals of the Chestnut Tiger *Parantica sita* were collected from ESASHI-Town and WAKKANAI-City, Northern Hokkaido, Japan. One Specimen(♀) was collected from ESASHI Town(44°56'21.6", 142°34'40.4, WGS84) in October 13<sup>th</sup> 2014. And the another specimen(♂) was collected from WAKKANAI City (45°25'29.1"N, 141°40'14.2"E, WGS84) in August 2013.

**キーワード:** アサギマダラ, 北海道, 宗谷, 道北, オホーツク, 枝幸町, 稚内市

**Keyword:** Chestnut Tiger, *Parantica sita*, Hokkaido, WAKKANAI, ESASHI, Okhotsk

### はじめに

アサギマダラ *Parantica sita* は、日本をはじめ、中国、韓国、台湾などの東アジアを中心に生息している大型のチョウである (Won-Ho et al. 2010). 本種の特徴的な生態として季節性の大規模な移動(渡り)を行うことが広く知られており、現在、アサギマダラの翅にマーキングをした後に放蝶し、再捕獲できた際に、その個体の移動距離・移動ルート进行调查する標識再捕獲法 (Mark-Recapture 法) によって、夏季に北上し、秋に南下する季節性の移動パターンと、ときに最長で 2000Km 以上の移動を行なっている事が徐々に明らかになってきている。

国内における本種の分布域は広く、日本各地で

目撃・採集例があるが、日本の北部、特に北海道の北部に位置する宗谷支庁管内での確認は利尻島、礼文島など、一部で報告されているが(例えば上野, 佐藤 2003), 少ない。

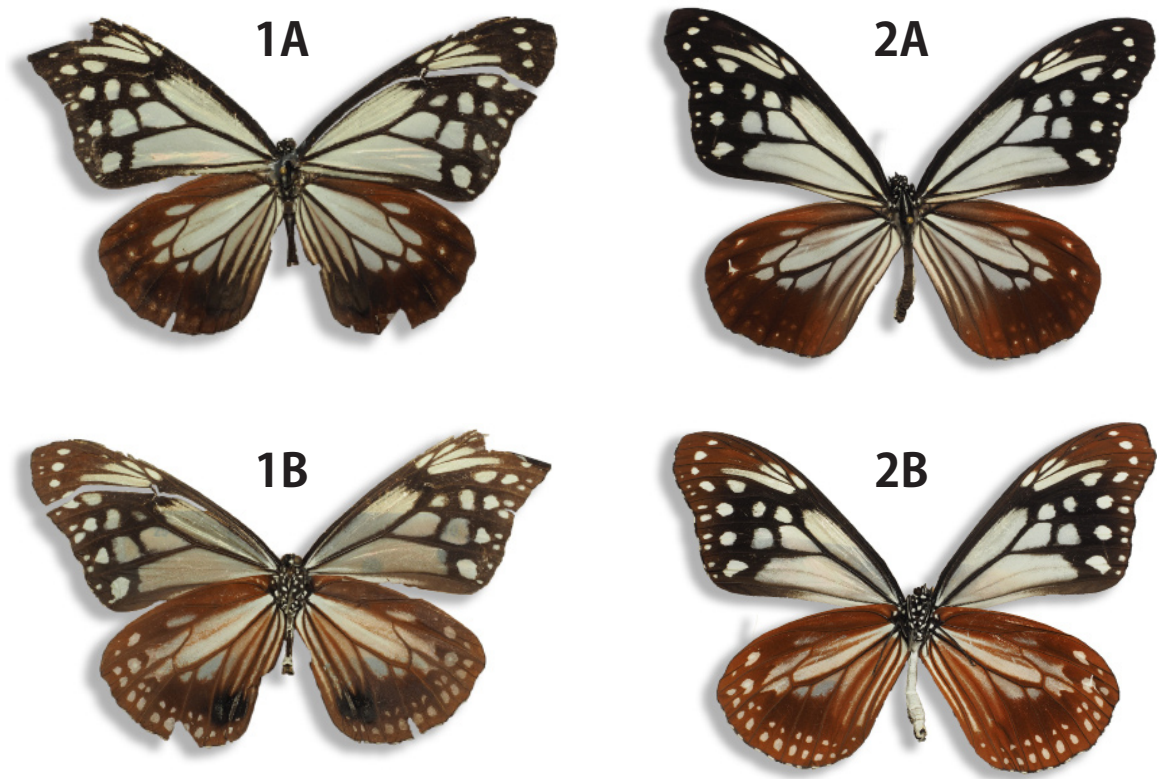
そこで本報告では、2013 年 8 月と 2014 年 10 月に稚内市および枝幸町の北海道北部宗谷管内 2 地点において採集されたアサギマダラの標本を得ることができたのでここに報告する。

### 採集記録

2013 年 8 月(日付は不明)に、北海道稚内市宝来 (45°25'29.1"N, 141°40'14.2"E, WGS84) に飛来していた大型のチョウを筆者の一人である佐藤の母が採集した。採集した標本は、模様の珍し

<sup>1</sup> 北海道枝幸郡枝幸町三笠町 1614-1, UsuiTaira@town.esashi.hokkaido.jp

<sup>2</sup> 北海道枝幸郡枝幸町新栄町 627



**Fig1.** Specimens of Chestnut Tiger *Parantica sita*. 1 collected from WAKKANAI City in August, 2013(♂, OMEI-144). 2 collected from ESASHI Town in October 13<sup>th</sup>, 2014(♀, OMEI-107). A: Dorsal view B: Ventral view

さから保管しており、その後、筆者の佐藤が枝幸町博物館施設オホーツクミュージアムえさしに郵送した。同定の結果、採集された標本はアサギマダラ(♂)であることがわかった(オホーツクミュージアムえさし収蔵, 登録番号 OMEI-144)。また、2014年10月13日には、筆者の一人である今田が、枝幸町栄町(44°56'21.6", 142°34'40.4, WGS84)の花壇に咲いていた、ハマナス *Rosa rugosa* の花にとまるアサギマダラ(♀)を採集・同定し、オホーツクミュージアムえさしに寄贈した(オホーツクミュージアムえさし収蔵, 登録番号 OMEI-107)。

### 考察

本種は、比較的温暖な地域を主な繁殖地としており、稚内および枝幸町の寒冷な気候を考慮すると、町内および市内で繁殖しているとは考えにくく、これよりも南の地域より、偶発的に飛来して

きたものと考えられる。また、今回確認された2つの地域よりも、更に北部に位置するサハリン島での確認記録もあることから(Gorbunov,2001)、頻繁ではないが、まれに町内・市内へと飛来しているのかもしれない。

また、上野ら(2003)は利尻島内で9月以降に出現する個体について、第2化である可能性を示唆していたが、枝幸町内において10月13日に採集された個体についても、利尻島、もしくは、その他の道北地域において生まれた第2化である可能性が考えられる。今後、道北地域における成虫の情報を含め、卵および幼虫等の調査を行っていく必要があるだろう。

### 参考文献

Gorbunov, P.Y., 2001. The butterflies of Russia: classification, genifalia, keys for identification( Lepidoptera: hesperioidae and papilionoidea), pp.320 Thesis, Ekateringurg.

Won-Ho, C., C. Do-Young, L. Cheol-Min, H. NOSHIRA,  
and N. HIRAI. 2010. First recorded migration of  
the butterfly, *parantica sita* (Lepidoptera: Danainae),  
from Japan to South Korea. *The Lepidopterological  
Society of Japan* 61:120-122.

上野雅史, 佐藤雅彦. 2003. 利尻島におけるアサ  
ギマダラの9月の記録. *利尻研究* 22:11-12.